



# 石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山田 美鈴

令和8年10月5日

第6号

## かっこいい姿と集団の美

校長 山田 美鈴

「芸術の秋」「スポーツの秋」と言いたいところですが、今年の初秋は長雨続きで悩ましい状況です。そんな中でしたが、3年生は9月14日～16日に2泊3日で関西修学旅行を行いました。

修学旅行と言えば東京駅丸の内南口地下にある「団体待合所」が修学旅行生お決まりの集合場所です。どうやら今春以降、JRから「団体待合所での拍手は控えてください」と旅行会社を通じて通告があったようです。通常東京駅では新幹線ホームに向かう前に、ほとんどの学校が出発式を行います。実行委員があいさつをしたり引率添乗員の紹介をしたりする式です。その中で自然に行う拍手そのものは、感謝や歓迎の意味を表す美しい行為であるとは思っていましたが、それが禁止されるということは、拍手だけでなく大声で騒ぐなど、通常利用者に対しよほどの迷惑行為に及んでしまったケースがあったのではないかと推察しています。

修学旅行事前指導の際、私は「石神井中学校は200人を超える生徒が公的な場所に集合するので、一般利用者にとってみればただでさえ迷惑がられることも考えられますが、その大人数が整然と並んで厳粛に話を聞いていたら、逆にこれほどかっこいい集団はないと言えるでしょう。皆さんがTPOをわきまえて行動できることを期待しています。」と伝えました。気持ちの切り替えを巧みに調整できる本校の3年生。東京駅でも凛々しい姿を見せてくれました。「集団の美」は決して体育祭だけで示すものではないと感じた一場面です。

3日目最後のタクシー班別半日行動を終えて京都駅前に集まってきた3年生。この場面もまた公衆の場に列を揃え全員で集合します。今度は閉校式です。3日間何とか持ち堪えた天候でしたが、この時になって小雨がパラパラと降り始めました。濡れる場所を避け、京都駅前の限られたスペースに密集状態で並ぶことになります。荷物は自分の右側。やかましく騒ぎ立てることなく閉校式が始まるのを整然と待つ本校生徒を見て、誇らしささえ感じました。やはりこれも「集団の美」です。

そんな石神井中生の集団に向けて外国人女性がカメラのシャッターを切ろうとしていたので慌てて止めに入りました。聞くところによると、あまりに整然と座っている光景が、どうやら説教の場面であると勘違いしていたようです。自国ではこう言った光景はあり得ないとのこと。勘違いしたまま「中学生が京都駅で説教されている！」などとSNSにでも挙げられてしまうことを想像すると、何とも恐ろしいものだと感じました（以上の内容は先日の全校朝礼で生徒に話しました）。

さて今月はいよいよ本校二大行事の一つである合唱コンクールです。各クラスでの合唱練習が始まり、校舎内に美しい歌声が響き渡っています。校内を回りながら集団で奏でる合唱を聴いている時間はまさに至福の時です。学年を超えて交流練習を行ったり、練習動画を見て振り返りをしたり。実行委員を中心に意見を出し合い、どのクラスも一つの合唱曲を創り上げようと協力している姿は、これもまた「集団の美」であると感じます。

私は生徒によく「人としてかっこいい姿」の話をします。私が求めている真のかっこよさを生徒たちは皆理解してくれています。合唱コンクール当日はかっこいい石神井中生がどのクラスも「集団の美」を見せ、感動を与えてくれることでしょう。10月15日の本番を思うと、今からワクワクが止まりません。スローガンは「心響一唱 ～言葉では届かない場所へ～」。

ぜひご来場ください。